

## ① 九電グループ全体でのイノベーションの創出

CSR  
重要課題

### イノベーションの創出



九電グループでは、グループ全体のイノベーションを推進し、新たな事業やサービスを生み出すためのプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」に取り組んでいます。

九電グループの基盤である九州において、イノベーションへの取り組みを通し、お客さまや社会の課題を解決

することで、お客さまの快適で環境に優しい毎日に貢献していきます。

そして、九州から、世界に誇れる事業・サービスを生み出し、世界を変えていくような取り組みを目指していきます。

### ●イノベーションの推進

#### グループ横断イノベーション

##### ・九電グループ横断でのイノベーション創出

2017年1月よりKYUDEN i-PROJECTを立ち上げ、様々なアプローチからビジネスアイデアの創出および事業化・サービス化に取り組んでいます。

2019年度には、グループ横断のビジネスアイデア創出企画「i-Challenge3」を実施しました。



i-Challenge3の様子

#### KYUDEN i-PROJECT

わたしが動く チームが生まれる 九州から変える

九電グループ全体から、イノベーションに熱意・関心のある「人」や「チーム」を公募し、ワークショップや社外有識者のメンタリング等による「育てるフェーズ」と、プレゼンテーションによる「選抜のフェーズ」を組み合わせ、有望なアイデアの創出に取り組みました。



#### 他企業等との共創(オープンイノベーション)

自社の有するリソースだけではなく、社外と連携することによって、技術やノウハウ、アイデアを共有し、新しいビジネスやサービスを共創していきます。

##### ・先進的な蓄電池の制御技術を有するNEXT-e Solutions(株)と提携

2019年9月、九州電力(株)は、NEXT-e Solutions(株)が行う第三者割当増資に応じるとともに、リユース蓄電池を活用した定置型蓄電システムの事業化に向けて協業を開始しました。

電動フォークリフトで使用したリチウムイオンを大規模の定置用蓄電池システムにリユースする仕組みを検討しており、分散型電源社会の到来を見据え、その課題解決に資する事業の創出を目指しています。



##### ・次世代植物工場の検討

九州電力(株)は、(株)九電工・東京センチュリー(株)・(株)スプレッドの3社と豊前発電所遊休地を活用した次世代植物工場<sup>(\*)</sup>の事業化検討を行っています。

この工場は、レタスの生産能力日産5トンと世界最大級のもので、野菜の安定供給に貢献する社会的意義が非常に大きな事業です。

VPP<sup>(\*\*)</sup>リソースとしての活用や再エネ電源との組み合わせによる低環境負荷のレタス提供等、新たな付加価値創出の可能性についても検討していきます。



事業化検討開始の記者発表

(\*) (株)スプレッドの次世代型農業生産システム(Techno Farm™)を導入し、建物内でLEDと養液を用いてレタス等の作物を栽培する工場

(\*\*) バーチャルパワープラント: 仮想発電所。電力の需給バランスを保つため、電力を使用する側の機器を制御し、発電所のように活用すること



## 【プロジェクトから生まれた案件】

### 〔事業化案件(準備中含む)〕



ベトナムに設立した現地法人「Kyuden Innovatech Vietnam」による水力発電運用改善事業



優秀な外国人材の就業と、定住による地域活性化を目指す「KYUDEN GLOBAL事業」



マンション入居者専用の電気自動車シェアリングサービス「weev(ウィーヴ)」



「教えたい人」と「習いたい人」をつなげる習い事マッチングプラットフォーム「あけいこタウン」



位置情報を活用した見守りサービス「Qottaby(キューオッタバイ)」



ドローンを活用した動画空撮、映像編集、三次元画像等の作成サービス「九電ドローンサービス」



女性消防設備士チームにより、マンション・アパート等の消防設備点検サービスを提供する事業「TEQNICO」

### 〔実証実験中の案件〕



離れていても、感じられる。

センサーを活用したアクティブシニア自立支援・健康寿命延伸サポートサービス「こねQと」



電柱を活用した防災情報伝達サービス

この他にも、多数の案件について実証実験に取り組んでいます。